



『ようこそ、ヒュナム洞書店へ』

ファン・ボルム著 牧野 美加訳 集英社
2023.9. 2F文学賞(929.13 // F14)

夢である書店を構えたヨンジュとそこでバリスタとして働くミンジュン。書店の2人と、店に集うお客たちの普通の日々が描かれます。店主の努力で店が居心地のいい場所に成長していく中、店に関わる人々の人生もほんの少しずつ変わっていきます。コーヒーを淹れ、自分もここを訪れるお客の一人になった気分でゆっくり読みたい本です。



紹介者：齋藤 (担当:利用者サービス)



1-3月



話題になった本



2024年に話題になった本が勢ぞろい！
本で1年を振り返ろう



レポートにも就活にも役立つ データベースを使ってみよう

レポート



就活

スマホやパソコンで雑誌記事や企業情報が検索・閲覧できる便利なツールを紹介します。キーワードで検索できるので、レポートや就活に役立つこと間違いなし！



学外・紀尾井町キャンパスから
利用したい方はこちら



就活に便利なポータル
サイトもあります

日経BP記事検索サービス

日経BP社などが発行する雑誌記事を検索・閲覧できるサービス。ビジネス・パソコン・医療など幅広いジャンルの雑誌を揃えています。「論文・レポートを書く」「就活情報を収集する」といったメニューも用意されています。



東洋経済デジタル コンテンツ・ライブラリー

『週刊東洋経済』『一橋ビジネスレビュー』など東洋経済新報社が発行するビジネス誌だけでなく、就活に欠かせない『会社四季報業界地図』『就職四季報』なども収録しています。『就職四季報』は採用校実績での絞り込みも可能です。



春休み長期貸出

学部1～3年生・短大1年生
図書(シラバス掲載図書除く)は
長期貸出扱いとなります。

貸出対象期間	返却期限日
1/6(月)～4/3(木)	4/18(金)

シラバス掲載図書の 貸出停止

試験開始日2週間前から試験終了まで、シラバス掲載図書の貸出を停止します。

貸出停止期間
1/7(火)～1/31(金) 2/3(月)～2/27(木)

卒業年次生・別科生・科目等履修生の 資料返却について

資料の返却期限は1/31です。
忘れずにご返却ください。

郵送でも返却を受け付けています。
※送料はご自身で負担していただきます。

図書館彙報

12/4 第28回ライブラリーラウンジを開催
12/5 Cas SciFinder講習会 (オンライン)
12/8 「図書館と県民のつどい埼玉2024」出展
12/12 図書館・学長室学務課 (研究支援) 共催研究倫理講演会 (著作権も含めて) 「研究と論文と不正」開催 (オンライン)

12/14 埼玉県大学・短期大学図書館協議会SALA第36回研修会に参加
12/18 第13回地域相互協力図書館合同主催公開講座開催
12/19 Scopus、Mendeley講習会 (オンライン)
■ 図書館見学 (12/10・16・17) 高校生他56名、大連外国語大学学生20名、教員1名

発行：城西大学水田記念図書館
350-0295
埼玉県坂戸市けやき台1-1

TEL:049-271-7736 mail: library1@josai.ac.jp
FAX:049-286-8126 URL: https://ibopac.josai.ac.jp/

P.1 巻頭言 P.2 図書館×ゼミコラボ展示 P.3 アドバイザー通信
P.4 図書館員のおすすめ、インフォメーション



岐路に立つ大学図書館の役割

現代政策学部 准教授 飯塚 智規

大学生の読書離れ、図書館離れが進んでいると言われて久しい。全国大学生生活協同組合連合会が毎年行っている「学生生活実態調査」では、大学生の読書時間を調査しているが、特に2017年の調査結果が反響を呼んだ。それによれば、「1日の読書時間0分」と回答した大学生の割合が初めて50%を超えた(53.1%)。2018年以降は46～50%前後を推移しており、最新の結果である2023年は47.4%となっている。つまり、今では2人に1人が「1日の読書時間は0分」である。

一方、大学生の大学図書館利用状況であるが、水田記念図書館のホームページに公開されているデータを見ると、新型コロナにより2020年に大きく入館者数が減少している。その後、中央広場の工事が行われたこともあり、入館者数の回復は芳しくない。2025年以降、入館者数がコロナ禍前の水準まで戻るかどうかは定かではないが、元の水準に戻るような「仕掛け」が無いと、図書館離れが続く苦しい状況のままだと推察される。

大学生が読書離れし図書館から離れていく現状を考えると、大学図書館の機能、あるいは役割を変えていく必要があると筆者は考える。もう古くなったが、文科省が2010年12月に出した「大学図書館の整備について(審議のまとめ)ー変革する大学にあって求められる大学図書館像ー」では、大学生の自発的な学習や実践の必要性を重視しており、「大学図書館にもその支援の「場」の提供や図書館職員等による学習支援が期待されている」と書いてある。具体的には学習支援、教育活動への関与、研究活動への寄与を大学図書館に期待しているようだが、最も重要なことは、利用者である学生に「様々な人達と交流する場」を提供することではないだろうか。

もちろん、学習支援の場の提供も必要であろう。個人やグループのための自習スペースの開放、あるいはビブリオバトルの開催などは、学習支援の場の提供と言える。しかし、これからの本学の図書館に必要なのは、学生間の交流や地域の人達との交流を促す場だと思われる。学長のメッセージには「『協創力』を育てるには、「仲間」が欠かせません」、「多様な人が多く集まり、授業以外にも部活動やボランティア、資格を取得することができる学びの機会を提供する」とある。こうした様々な機会を提供する交流の場へと、本学図書館はその役割をシフトすることが期待される。

図書館1階で
「第28回ライブラリー
ラウンジ紹介図書」展示
を行っています。

イベントの詳細は
P.3へ



図書館HPや公式Xでは、役立つ情報をお知らせしています。また、図書館員がオンラインでも資料の相談を受け付けています。



図書館HP



図書館公式X



オンライン相談

現代政策学部 飯塚先生
「フレッシュマンセミナーB」連携



現代政策学部 飯塚智規先生「フレッシュマンセミナーB」とのコラボ展示を、1階ブラウジングコーナーにて開催中です。図書館の本に学生がPOP広告を作成し、その本とPOPを自分たちでレイアウトした展示で紹介しています。



あなたが思わず
本を手にとってしまう
POP広告はどれ？

PowerPointのPOP広告

『「指示通り」ができない人たち』(榎本博明著 日経BP日本経済新聞出版)に対して PowerPointで作成したPOP広告を展示しています。同じ本ですが、個性豊かなPOPになっています。



手書きのPOP広告



学生自身が選んだ本に対して、手書きで作成したPOP広告を展示しています。思わず手にとりたくなるPOPばかり！



学生自身でレイアウト



本を手にとってもらえるように考えながら学生自身がレイアウト

学生のPOP広告を掲載した冊子も配布しています

展示についてのコメントもお待ちしています

第28回ライブラリーラウンジ

マナー & グループディスカッション 実践講座



12月4日(水)、学生アドバイザー企画の第28回ライブラリーラウンジを開催し、学生、教職員合わせて33名が参加しました。今回はキャリアサポートセンター・キャリアカウンセラーの野村正博さんを講師にお招きし、就職活動に役立つ実践的なお話をいただきました。



今回の講師、キャリアサポートセンター・キャリアカウンセラーの野村正博さん



前半は、面接などで役立つマナーについて、最近の状況や具体的なデータ、また現在就活中の学生の声も交えながら、講義形式で親身にお話しいただきました。どれもすぐに役立つ情報で、長年就活支援に携わられている経験をもとにした、分かりやすい説明でした。



後半は5グループに分かれて、グループディスカッションを行いました。一つのテーマについて話し合い、まとめた結果を発表するという形式は、実際の就活でも行われています。発表後は野村さんからの講評もあり、参加者には良い体験になったのではないかと思います。



参加者の声

講師の方のお話が基本的なマナーが多く、ためになりました

今後の就活に役立つ内容であったので活かしていきたい

自分の今後の課題が見つかった

他の学部の方とグループディスカッションができて良かった



開催後記

始めはグループディスカッションがスムーズに進んでいくか心配でしたが、自己紹介のアイスブレイクを先に行ったことで緊張した空気が和らぎ、時間内で順調に話し合いを進めていました。今回のライブラリーラウンジが参加した方々にとって、実際に就職活動に活かせるような学びのある良い経験となっていたら嬉しいです。

高橋来夢
経営学部4年



「Supporters'Forum 2024」に参加しました

11月30日(土)、成城大学・甲南大学・京都橋大学の学生サポーター団体企画・運営による

「Supporters'Forum 2024」が、成城大学と甲南大学の2会場での対面式(ハイフレックス型)で行われ、25大学と、3高校、総勢230名が参加しました。城西大学からは学生アドバイザー3名が成城大会場に参加しました。前半(全体ワーク)は、外部講師よりコミュニケーションで見つける自分軸について学びました。後半(分科会)は代表者5名によるビブリオトークを行いました。さらに、その発表に対してグループごとのディスカッションを通して質問や感想をまとめ、質疑応答を行いました。いずれも今後の活動に繋がるよい経験となりました。



講義を通じた他大学の学生との交流を通じて、コミュニケーションの壁が低くなったように感じます。対話を重ねる中で、相手の価値観や考え方が自分の中に新たな気づきをもたらすと共に、議論を通じて共有された本への魅力や視点はどれも刺激的で、これからの活動においてとても生きるものへとなりました。この経験をもとに、学生を支援するためのアドバイザー業務をさらに発展させたいと思います。

吉野菜々子
現代政策学部3年

